

脈々 高蔵魂^{スピリッツ}

(創立者 市邨芳樹のことば)

「汝自身を知らしめよ」

真っ正直に生きていても、人生思わぬ災難に出会ったり、理不尽な争いごとに巻き込まれたりする。

難局を切り抜けるためには、身の不運を嘆くよりも、先ず立ち上がらなければならぬ。争い事に勝利の快哉^{かいさい}はないが、降りかかった火の粉は払わねばならぬ。

意地は抜き身の刀であり、むやみと振り回すものではないが、さりとして韃^{きや}にしまったままでは錆ついてしまう。

困難と戦って、而も曾^{かつ}て屈せざる底力を養ってください。 (「藪椿」12-27)